

ほけんだより



デルタ株により感染者が増加し緊急事態宣言も続いています。いよいよ身近にも感染した方をよく聞くようになり不安な方も多いことと思います。症状の出る2日ほど前から感染力があり感染対策の十分にできない乳幼児が集団で生活している保育園はいつ移るかわからない場所です。非常事態が落ち着くまでは必要な場合を除きご家庭で過ごすなど感染拡大の防止対策について引き続きご協力をお願いいたします。 看護師 松坂

- 園児又は同居の家族に感染が確認又は濃厚接触者と指定された場合は、保健所が指定する日まで登園しないようお願いします。また、PCR検査や抗原検査を受けた場合は、速やかに園にご連絡ください。
- 園児に発熱や倦怠感、喉の違和感、咳鼻、嘔吐下痢などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合は、登園せず早目の受診を行い、軽減するまで自宅で休養してください。
- 同居の家族に同様の症状が見られる場合も登園を控えてください。
- 送迎はお子さん1人につき大人1名で速やかにお帰り下さい。なお出来るだけ小学生以上の御兄弟の来園も控えて頂くようお願いいたします。

・9月9日は救急の日



子どもは思わぬ行動をします。一瞬の気の緩みが事故や怪我につながります。危ない物はないか部屋の中を子供の目線で日々点検し救急時の対応も確認しましょう。

<やけど> 流水で10分以上冷やしましょう。手のひら以上の大きさのもの、水ぶくれのものは受診しましょう。※浸出液がある時や破れそうな水疱も保護してきてください。

<窒息 小さいものに注意！> 玩具の部品、なめていて破れたビニールやシールで窒息した事故もあります。餅、パン、ご飯、飴、豆やぶどう、ミニトマトなども要注意です。咳込む・息ができない時は頭を下にして背中を強く叩き、吐きだせ出ないときは救急車を！
※気管支拡張テープなども剥がれやすいので口に入れないよう気を付けましょう。

<誤飲 たばこや薬、洗剤などを手の届くところに置かない！> 電池や灯油・除光液など吐かせてはいけないものもあります。*日本中毒情報センター等を参考にしましょう。

<転落 ベランダや窓のそばに踏み台になる物を置かない！> ベッドやプランターなども危険です。トイレや洗濯機、風呂などを覗き込んで転落し溺死した事故もあります。

病気やケガで受診を迷う時、救命処置などは日本小児科学会のHP「子どもの救急」等を参考にしたり東京消防庁救急相談センター #7119へ相談してみましょう。



保健行事

9/30 0.1才児健診
月初 身体測定(身長・体重)

感染症情報 8/5~9/7

RSウイルス 3名 気管支炎 1名
胃腸炎 7名